

# 令和4年度 事業報告

令和4年4月1日から  
令和5年3月31日まで

公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会

## 目 次

I	現況	1
1	事業	1
2	役員等	1
3	評議員	1
4	顧問等	1
5	事務局	2
6	地区組織	2
7	事業資金	2
II	評議員会・理事会・幹事会等	3
1	評議員会	3
2	理事会	4
3	監事会	7
III	事業実施の概要	8
1	一般事業	8
2	普及事業	10
3	振興事業	10
4	助成事業	12
IV	届出・報告事項	17
V	附属明細書について	18

## I 現況

### 1 事業

本会の定款に掲げる事業は、次のとおりである。

- (1) 団体の行う吟剣詩舞に関する協力および援助
- (2) 吟剣詩舞に関する研究
- (3) 指導者の養成ならびに研究会および講演会等の開催
- (4) 発表会およびコンクールの開催
- (5) 吟剣詩舞功労者の表彰
- (6) 会誌および図書の刊行
- (7) その他目的を達成するために必要な事業

### 2 役員等（令和5年3月31日現在）

代表理事

会 長（代表理事）	沼崎 富（星翁）
副会長	多田稔雄（正稔）、徳田良子（寿風）
専務理事（代表理事）	池内賢二
常務理事（業務執行理事）	大田直樹
理 事	久米信行、武井涼子、徳永洋子、山田則夫（静将）、 吉田茂男（魁桜）、早淵淳子（河野鶴聲）、 大本則夫（翠山）、宮川 進（紫朋）、 渡邊明子（大伊達不朽）、妹尾桂子（藤上翔山）、 早淵 肇（鯉将）、安田幸代（水鈴）、入倉幸一（昭星）、 藤本大輔（誠堂）、清水 一（錦洲）、 福井美行（鈴木吟亮）、田中文夫（国臣）、 淡谷節子（遠藤晃楓）（理事 23名）
監 事	渡部行光、村尾秀夫（監事 2名）

### 3 評議員（令和5年3月31日現在）

加藤雅章、前田 晃、八代徹也、鷺野正明、  
多田 満（正満）、八文字勝利（剛洲）、安永利一（江悠）、  
原 眞人（青柳芳寿朗）、田中健治（岳藤）、  
山口英二（華雋）、横山信吾（精真）（評議員11名）

### 4 顧問等（令和5年3月31日現在）

(1) 顧問	21名
(2) 元老	86名
(3) 参議	14名
(4) 代議員	67名
(5) 相談役	279名
(6) 参与	419名

## 5 事務局（令和5年3月31日現在）

所在地 東京都港区虎ノ門3-4-10 虎ノ門35森ビル7階

常勤役員2名、職員4名

## 6 地区組織

本会には50の公認都道府県吟剣詩舞道総連盟（以下「公認総連盟」）があり、それぞれの地区に以下の8つの地区連絡協議会（以下「地区連協」）を設けている。

（括弧内は公認総連盟名）

- （1）北海道地区連絡協議会（中央、南部、北部、北紋：4地域）
- （2）東北地区連絡協議会（青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島、新潟：7県）
- （3）東日本地区連絡協議会（栃木、群馬、茨城、千葉、埼玉、東京、神奈川、山梨：8都県）
- （4）中部地区連絡協議会（静岡、愛知、長野、富山、石川、福井、岐阜、三重：8県）
- （5）近畿地区連絡協議会（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山：6府県）
- （6）中国地区連絡協議会（岡山、広島、山口、鳥取、島根：5県）
- （7）四国地区連絡協議会（香川、愛媛、徳島、高知：4県）
- （8）九州地区連絡協議会（福岡、大分、佐賀、長崎、宮崎、熊本、鹿児島、沖縄：8県）

## 7 事業資金

本会の事業資金は、各種事業活動による事業収入、公益財団法人日本財団等からの助成金、寄附金による。

## II 評議員会・理事会・監事会等

### 1 評議員会

#### (1) 第12回評議員会

決議日 令和4年6月27日(月)

開催場所 日本財団ビル 会議室

決議事項 1. 令和3年度事業報告及び決算報告の承認及び内閣府への報告書類提出に関する件について

報告事項 1. NHK「趣味どきっ!」取材について  
2. 少壮吟士制度の見直しについて  
3. 「吟剣詩舞道和歌集(仮)」編纂について  
4. 高文祭について  
5. 動画(YouTube)について  
6. コンクールの地方開催について

出席等 評議員数 出席9名、欠席2名(評議員11名中)

監事 出席2名(監事2名中) 理事 出席3名

#### (2) 第13回評議員会

決議日 令和4年11月16日(水)

開催場所 LiLeaS(ライラス) Room G(東京都港区赤坂)

報告事項 1. 講習会事業(夏季吟道大学、少壮特別研修会)について  
2. コンクール事業(全国吟詠/剣詩舞コンクール決勝大会)について  
3. 第2回宗家・会長会議について  
4. 名流大会の収支状況について  
5. YouTubeチャンネルについて

吟剣詩舞界の活性化に向けた自由討論

出席等 評議員数 出席11名(評議員11名中)

監事 出席2名(監事2名中) 理事 出席3名

#### (3) 第14回評議員会

決議日 令和5年3月11日(土)

開催場所 スマートレンタルスペース新橋汐留(東京都港区東新橋)

決議事項 1. 定款の改正に関する件

報告事項 1. 業務執行状況について  
2. 令和5年度事業計画及び収支予算(案)について  
3. 第2回宗家・会長会議の報告について  
4. 月刊「吟剣詩舞」の状況について  
5. その他

出席等 評議員数 出席7名、欠席4名(評議員11名中)

監事 出席1名、欠席1名(監事2名中) 理事 出席3名

## 2 理事会

### (1) 第30回理事会

決議日 令和4年5月4日(水)

開催場所 北とびあ 会議室(東京都北区王子)

報告事項 1. 業務執行状況について  
2. 令和4年度・令和5年度事業スケジュールについて  
3. 第52回全国吟剣詩舞道大会について  
4. 令和4年度地区別コンクール出場者並びに講習会等各地区別割当について  
5. 夏季吟道大学の内容について  
6. 全国高等学校総合文化祭(東京大会)の開催について  
7. 月刊誌のリニューアルと購読強化支援について  
8. 各地区の近況報告と要望について  
9. 令和4年度監事会、第31回理事会、第12回評議員会の開催について

出席等 理事 出席21名、欠席2名(理事23名中)

監事 出席2名(監事2名中)

### (2) 第31回理事会

決議日 令和4年6月9日(木)

開催場所 オンライン会議システムを使用して開催

決議事項 1. 令和3年度事業報告及び決算報告の承認及び内閣府への報告書類提出に関する件

2. 第12回評議員会の開催および招集について

報告事項 1. 業務執行状況について

2. 夏季吟道大学について

3. 新たな全国剣詩舞コンクール審査員について

4. ホームページ保守運営業者の選定と変更について

5. 少壮吟士制度の見直しについて

6. 第52回全国吟剣詩舞道大会の奉賛金について

7. 第53回全国吟剣詩舞道大会の開催について

8. 財団公式ホームページ「フォトライブラリー」公開について

9. NHK「趣味どきっ!」取材について

10. BSフジ「ごちそうさま」の放映について

11. リニューアル月刊誌新コーナー「表紙の詩」の解説について

12. 月刊「吟剣詩舞」購読部数推移について

13. 令和4年度宗家会長会議について

14. 令和4年度年会費徴収案内の発送について

出席等 理事 出席21名、欠席2名(理事23名中)

監事 出席2名(監事2名中)

### (3) 第32回理事会

決議日 令和4年8月17日(水)

開催場所 オンライン会議システムを使用して開催

決議事項 1.実績配当型合同運用指定金銭信託を利用した運用について  
2.謝金等基準の策定について

報告事項 1.業務執行状況について  
2.「吟剣詩舞道和歌集」の編纂について  
3.「少壮吟士」制度の見直しについて  
4.「第53回全国吟剣詩舞道大会」開催について  
5.「第2回宗家・会長会議」の開催と推薦について  
6.「吟剣詩舞大賞」候補者推薦について  
7.「令和4年度全国コンクール」の進捗について  
8.「令和4年度少壮吟士夏季特別研修会」について  
9.「令和4年度夏季吟道大学」の開催について  
10.「全国高等学校総合文化祭東京大会」の報告と現状について  
11.年会費徴収の状況について  
12.広報WGからの報告と提案について  
13.月刊「吟剣詩舞」購読状況について

出席等 理事 出席20名、欠席3名(理事23名中)

監事 出席2名(監事2名中)

### (4) 第33回理事会

決議日 令和4年10月20日(木)

開催場所 オンライン会議システムを使用して開催

決議事項 1.第13回評議員会の開催および招集について

報告事項 1.業務執行状況について  
2.令和4年度剣詩舞道吟道大学について  
3.第50回全国少壮吟詠家審査コンクール決選大会について  
4.第36回吟剣詩舞大賞の受賞者について  
5.令和5年度役員改選について  
6.令和5年度日本財団に対する申請について  
7.NHK Eテレ「趣味どきっ!」本放送について  
8.令和5年度 伝統文化親子教室事業への応募案内  
9.役員の辞任について  
10.月刊「吟剣詩舞」購読部数推移について

出席等 理事 出席21名、欠席2名(理事23名中)

監事 出席2名(監事2名中)

### (5) 第34回理事会

決議日 令和4年12月15日(木)

開催場所 オンライン会議システムを使用して開催

決議事項 1.第53回全国吟剣詩舞道大会の開催について

- 報告事項
1. 業務執行状況について
  2. 第2回宗家会長会議について
  3. 令和4年度剣詩舞道大学について
  4. 令和5年度文化庁伝統文化親子教室事業の応募状況について
  5. 全国コンクールの枠組み変更について
  6. 役員改選について
  7. 和歌アンケート結果について
  8. 令和5年度年間スケジュールについて
  9. 吟剣詩舞大賞表彰について
  10. 月刊「吟剣詩舞」購読部数推移について

出席等 理事 出席22名、欠席1名(理事23名中)

監事 出席1名、欠席1名(監事2名中)

### (6) 第35回理事会

決議日 令和4年2月2日(木)

開催場所 オンライン会議システムを使用して開催

決議事項 1.第14回評議員会の開催および招集について

- 報告事項
1. 業務執行状況について
  2. 令和4年度全国剣詩舞道大会について
  3. 第50回全国少壮吟詠家審査コンクール決選大会について
  4. 第36回吟剣詩舞大賞の受賞式について
  5. 第2回宗家・会長会議の開催について
  6. 月刊「吟剣詩舞」購読部数推移について
  7. その他

出席等 理事 出席19名、欠席4名(理事23名中)

監事 出席1名、欠席1名(監事2名中)



### (7) 第36回理事会

決議日 令和5年3月11日(土)

開催場所 スマートレンタルスペース新橋汐留(東京都港区東新橋)

決議事項 1. 令和5年度事業計画及び収支予算(案)及び付帯決議について  
2. 吟剣詩舞普及事業基金の取崩について  
3. 規程改正(役員選考規程)  
4. 規程改正(少壮吟士制度)  
5. 評議員会議案  
6. 役員(参与)の選任について

報告事項 1. 日本財団からの令和5年度助成事業の内示について  
2. 業務執行状況について  
3. 令和4年度剣詩舞道大学について  
4. 第50回全国少壮吟詠家審査コンクール決選大会について  
5. 第36回吟剣詩舞大賞の受賞式について  
6. 第2回宗家・会長会議(令和5年1月18日開催)について  
7. 少壮吟士新選抜制度「少壮吟詠家選考審査会」について  
8. 全国高等学校総合文化祭関係について  
9. 役員の辞任について  
10. 遺贈寄付の受け入れについて  
11. 月刊「吟剣詩舞」の購読について  
12. その他

出席等 理事 出席22名、欠席1名(理事23名中)

監事 出席1名、欠席1名(監事2名中)

## 3 監事会

### (1) 令和3年度決算監事監査

決議日 令和4年6月8日(水)

開催場所 日本吟剣詩舞振興会 会議室

内容 1. 事務局長挨拶  
2. 事業概要報告  
3. 決算報告  
4. 監事による確認  
5. 監事の押印

出欠 監査人として監事2名  
日本吟剣詩舞振興会 5名

### Ⅲ 事業実施の概要

#### 1 一般事業

##### (1) 組織化促進事業

全国8地区連絡協議会の運営がそれぞれの書記局において行われた。

##### ① 各地区連絡協議会の運営

- ◎各地区連絡協議会執行部会議等の開催
- ◎地区内の公認各吟剣詩舞道総連盟の組織運営への協力
- ◎地区内会員の掌握と会員間諸問題の調整
- ◎令和4年度の全国吟詠コンクール、全国剣詩舞コンクール、および全国少壮吟詠家審査コンクール地区大会の主催並びに全国決選大会の運営主管
- ◎夏季吟道大学および全国吟剣詩舞道大会の地区内参加希望者の推薦など振興会行事への協力

##### (2) 協力援助事業

吟剣詩舞優秀団体の行う行事に対する協力及び援助を行った。

##### ① 傘下団体の行う行事に対する協力援助

傘下団体の行う吟剣詩舞に関する行事59件に対し、後援名義の貸与等の協力を行った。

##### ② 全国高等学校総合文化祭・吟詠剣詩舞部門に対する協力援助

青少年吟剣詩舞道育成基金運用の一環として、第46回全国高等学校総合文化祭東京大会「とうきょう総文2022」吟詠剣詩舞部門では、全国から25都府県、76校、190名が参加した。参加者と関係者に対して、昼食用弁当の支援と、東京都吟剣詩舞道総連盟での青少年・吟剣詩舞育成協力のための実費の請求として、講師料、衣装賃料などに対しても支援を行った。

開催日 令和4年8月4日(木)  
場 所 江戸川総合文化センター(東京都江戸川区)  
出演者 25都府県、76校、190名  
補助金 1,999,989円

##### ③ 青少年育成推進のための協力援助

##### ◎青少年大会開催に対する協力援助

- ・令和4年度 岐阜県幼少青年吟詠剣詩舞発表大会
- ・第32回 栃木県青少年育成吟剣詩舞道大会

計 200,000円

### (3) 研究会開催事業

吟剣詩舞に関する専門委員会の開催を行った。

◎第44回吟詠専門委員会

開催日 令和4年5月4日(水)  
場 所 北とぴあ 会議室(東京都北区王子)  
出席等 吟詠専門委員 出席 11名(11名中)  
オブザーバー 3名 事務局 3名

◎第45回吟詠専門委員会

開催日 令和4年8月26日(金)  
場 所 勤労青少年水上スポーツセンター 会議室(愛知県碧南市)  
出席等 吟詠専門委員 出席 9名(11名中)  
オブザーバー 2名 事務局 3名

◎第46回吟詠専門委員会

開催日 令和5年3月11日(土)  
場 所 スマートレンタルスペース新橋汐留(東京都港区東新橋)  
出席等 吟詠専門委員 出席 11名(11名中)  
学識経験者 1名 オブザーバー 3名 事務局 3名

◎第55回剣詩舞専門委員会

開催日 令和4年5月30日(月)  
場 所 日本吟剣詩舞振興会 会議室  
出席等 剣詩舞専門委員 出席 7名(10名中)  
オブザーバー 2名 事務局 3名

◎第56回剣詩舞専門委員会

開催日 令和4年9月17日(土)  
場 所 METS赤羽会議室(東京都北区赤羽)  
出席等 剣詩舞専門委員 出席 11名(11名中)  
オブザーバー 3名 事務局 3名

◎第57回剣詩舞専門委員会

開催日 令和5年2月11日(土)  
場 所 勤労青少年水上スポーツセンター 会議室(愛知県碧南市)  
出席等 剣詩舞専門委員 出席 10名(11名中)  
オブザーバー 3名 事務局 3名

#### (4) 功勞者表彰事業

令和4年度吟剣詩舞大賞受賞者の選考並びに表彰を行った。

第36回吟剣詩舞大賞選考委員会を開催し、吟剣詩舞功勞賞に次の5氏を選考し表彰した。

吟剣詩舞大賞	文化賞	石垣 清美	琴演奏家	・東京都
〃	功勞賞	菱谷 彩佑	剣詩舞家	・東京都
〃	功勞賞	大伊達 不朽	吟詠家	・愛知県
〃	功勞賞	早淵 鯉將	剣詩舞家	・兵庫県
〃	功勞賞	大本 翠山	剣詩舞家	・広島県

## 2 普及事業

### (1) 広報活動事業

吟剣詩舞の周知宣伝のための広報活動を行った。

- ① 日本吟剣詩舞振興会Webサイトの運用促進を図った。
- ② 新聞、雑誌などへの広報活動を行った。
- ③ 公式YouTube動画の作成を行った。
- ④ 吟詠・剣詩舞スーパーチームの派遣。
- ⑤ NHKテレビ・ラジオ収録への協力。

## 3 振興事業

### (1) 発表会開催事業

令和3年5月5日(水・祝)に熊本県熊本市の熊本城ホールにて全国名流吟剣詩舞道大会の開催を予定し、新型コロナウイルス感染拡大を受け中止していたが、令和5年11月の開催に向けて準備をおこなっている。

### (2) 吟詠教本発行事業

吟詠統一教本(既刊図書)を作成配布した。 ※( )内は前年度販売実績

- ・吟剣詩舞道漢詩集(絶句編)解説書……………100部(33部)
- ・吟剣詩舞道漢詩集(律詩・古詩編)解説書……………48部(46部)
- ・吟剣詩舞道漢詩集(続絶句編)解説書……………100部(32部)
- ・吟剣詩舞道アクセント付漢詩集(絶句編)……………223部(149部)
- ・吟剣詩舞道アクセント付漢詩集(律詩・古詩編)……………102部(57部)
- ・吟剣詩舞道アクセント付漢詩集(続絶句編)……………199部(110部)
- ・幼少年向けテキスト『はじめての吟詠』……………89部(11部)

### (3) 会報発行事業

吟剣詩舞に関する広報並びに情報誌として、月刊「吟と舞」を発行した。

令和5年3月31日現在の有料発行部数は4,533部(昨年度末4,816部)である。

#### (4) 教材頒布事業

吟剣詩舞道吟詠集（ＣＤ、カセットテープ）の作成配布及び吟剣詩舞道伴奏集（同）の監修指定など、吟剣詩舞に関する教材の製作頒布並びに既刊教材の頒布促進を行った。

また、和歌の吟詠をまとめたＣＤ「和歌新撰集「令和」」の製作頒布を行った。

※( )内は前年度販売実績

##### 教材としての吟詠集の製作頒布数

- ・ 令和５年度吟剣詩舞道吟詠集ＣＤ…………… 3, 249本(3, 417本)
- ・ よみがえる名吟集ＣＤ…………… 19本( 26本)
- ・ 和歌新撰集「令和」ＣＤ…………… 42本( 48本)

##### 教材としての伴奏集の製作監修並びに振興会指定数

- ・ 吟剣詩舞道伴奏集ＣＤの指定数…………… 430本( 439本)
- ・ 吟剣詩舞道伴奏集テープの指定数…………… 7本( 5本)
- ・ 続・吟剣詩舞道伴奏集ＣＤの指定数…………… 285本( 250本)
- ・ 続・吟剣詩舞道伴奏集テープの指定数…………… 1本( 3本)

#### 4 助成事業（日本財団助成事業）

##### （1）吟剣詩舞普及振興のためのコンクールおよび講習会の開催

###### ① 事業の実施内容

###### 1. 全国吟剣詩舞道大会

高松宮妃癌研究基金奉賛 第52回全国吟剣詩舞道大会の開催

開催日：令和4年5月5日（木）

場 所：北とぴあ・さくらホール（東京都北区王子）

参加人数：1,300人

###### 目標

吟剣詩舞界最大の催しである「全国吟剣詩舞道大会」では、多くの吟剣詩舞愛好家が全国より集結し、「全国吟詠合吟コンクール」等が行われる。そのため、滞留人数を減らすなど感染症対策を講じ、満員の入場者と感染ゼロを目指す。

###### 達成状況

全国吟剣詩舞道大会については3年ぶりの待望の開催ということもあり、非常に多くの来場者を迎えることができた。また、合吟コンクールについてもコロナ対策として1チームの人数を減らしたこともあり、72チームという近年にない参加組数となった。また感染症対策を十分講じたため大会終了後の新型コロナウイルス感染の報告などもなかった。

###### 2. コンクール

###### a. 令和4年度全国剣詩舞コンクール決勝大会

開催日：令和4年9月18日（日）

場 所：赤羽会館（東京都北区赤羽）

参加人数：126人

###### b. 令和4年度全国吟詠コンクール決勝大会

開催日：令和4年9月19日（月）

場 所：日本教育会館一ツ橋ホール（東京都千代田区一ツ橋）

参加人数：112人

###### c. 第50回全国少壮吟詠家審査コンクール決選大会

開催日：令和5年3月12日（日）

場 所：ニッショーホール（東京都港区東新橋）

参加人数：58人

###### d. 第36回吟剣詩舞大賞授賞式 ※事業計画変更

開催日：令和5年3月12日（日）

場 所：第一ホテル東京（東京都港区新橋）

参加人数：50人

## 目標

全国吟詠コンクール並びに全国剣詩舞コンクールは、吟剣詩舞道界最大のコンクールとして全国の吟詠家・剣詩舞家が日頃の研鑽の成果を競い合うことにより、吟剣詩舞道界の発展と普及振興、さらには全体の技量向上の場としていきたい。

全国少壮吟詠家審査コンクールは、日本吟剣詩舞振興会認定少壮吟士として吟界を牽引する人物を発掘すると同時に少壮吟詠家の日頃の研鑽の成果を競い合う場としていきたい。

コンクール終了後には、全国大会出場者を対象に属性を調査するため、アンケート調査を実施する。

また、全国コンクールの地区大会や東京で開催している決勝大会には多くの方々が応援や観覧で来場いただいているが、当年度も新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては出場者及び関係者以外の入場は規制し、その代替として全国コンクール決勝大会についてはライブ配信を実施すること等を検討する。

大会実施要領についても大きく見直し、出場者の滞在時間を最小限にするよう心掛け感染ゼロを目指す。

## 達成状況

全国吟詠コンクール並びに全国剣詩舞コンクールを開催することにより、全国の吟詠家・剣詩舞家が日頃の研鑽の成果を競い合うことが可能となり、吟剣詩舞道界の発展と普及振興、さらには全体の技量向上の場を提供することができた。また、全国少壮吟詠家審査コンクールを開催することにより、日本吟剣詩舞振興会認定少壮吟士として吟界を牽引する人物を発掘することができた。

## **3. 講習会**

### a. 令和4年度夏季吟道大学の開催

開催日：令和4年7月16日（土）～17（日）

場 所：勤労青少年水上スポーツセンター（愛知県碧南市）

参加人数：36人

### b. 令和4年度少壮吟士夏季特別研修会の開催

開催日：令和4年8月27日（土）～28（日）

場 所：勤労青少年水上スポーツセンター（愛知県碧南市）

参加人数：41人

### c. 令和4年度剣詩舞道大学の開催

開催日：令和5年2月11日（土）～12（日）

場 所：勤労青少年水上スポーツセンター（愛知県碧南市）

参加人数：39人

## 達成状況

夏季吟道大学並びに剣詩舞道大学を開催することにより、全国の吟詠及び剣詩舞指導者の育成を進めることができ、また参加者同士の横のつながりを生み出すことにより地方での吟剣詩舞活動の活性化

の一助となった。また、少壮吟詠家夏季特別研修会を通じて、日本吟剣詩舞振興会が認定する少壮吟士の技能向上と少壮吟士としての役割の理解を深め、心構えを養うことができた。

#### 4. 次年度の準備

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| a.第53回全国吟剣詩舞道大会の開催準備         | 令和5年12月10日(日)        |
| b.令和5年度全国吟詠コンクール決勝大会の開催準備    | 令和5年9月18日(月)         |
| c.令和5年度全国剣詩舞コンクール決勝大会の開催準備   | 令和5年9月24日(日)         |
| d.令和5年度全国剣詩舞群舞コンクール決勝大会の開催準備 | 令和6年2月11日(日)<br>(予定) |

#### 進行状況

令和5年度開催事業に利用する会場を令和4年度中に確保するため、会場費の前金支払いを行った。

#### ② 事業費総額及び助成金等

事業費総額	42,497,730円
助成金	42,497,000円
自己負担分	730円



## (2) 吟剣詩舞普及振興のための調査研究

### ① 事業の実施内容

#### 1. 公式ウェブサイトの開発等インターネットを利用した吟剣詩舞の広報の促進

##### 目標

公式WebサイトやTwitter・Facebook等のSNSを駆使した情報発信並びに地方における活動状況の吸い上げ、吟剣詩舞動画や講座の配信を行い、若い世代への吟剣詩舞の周知を図る。

##### 達成状況

吟剣詩舞を、一般の方々へ効果的に周知する方策として、イベントの事前告知やメディア出演情報、月刊誌の発売、研修会動画のアップなど、SNSを積極的に活用できた。特に、日本吟剣詩舞振興会の公式YouTubeチャンネルについて、視聴可能動画数が3,400を超え、2023年3月にはチャンネル登録者数が1万人を突破した。

#### 2. 高校総合文化祭東京大会への支援

##### 目標

令和4年度に東京で開催される高校総合文化祭の開催協力を東京都吟剣詩舞道総連盟や会員を通して行う。

##### 達成状況

開催日：令和4年8月4日（木）

場 所：江戸川総合文化センター（東京都）

吟詠剣詩舞部門では、全国から25都府県、76校、190名が参加した。参加者と関係者に対して、昼食用弁当の支援と、東京都吟剣詩舞道総連盟での青少年・吟剣詩舞育成協力のための実費の請求として、講師料、衣装賃料などに対しても支援を行った。当会の会長も来賓として参加した。開催地でもある、東京都吟剣詩舞道総連盟の先生方においては、数年前から準備を開始し、参加高校に赴き指導していただくなど、多大な協力のもとに成功させることができた。

#### 3. 各地区連絡協議会との意見交換会の開催

##### 目標

各地区連絡協議会が置かれている現状を理解するため、各地区との意見交換会を適宜開催する。また、地区連協役員でない宗家・会長との意見交換の機会として宗家・会長を開催する。

##### 達成状況

開催日 / 場 所 / 参加人数

令和4年9月11日（日）	山形	8名
令和4年9月25日（日）	大分	6名
令和4年10月9日（日）	岡山	18名

令和4年11月3日(日) 広島 7名  
令和5年2月26日(日) 宮崎 8名  
令和5年3月29日(水) 大分 5名

withコロナでの生活スタイルにも慣れ、感染対策をしながらの、舞台やコンサートの開催も増えてきたこともあってか、各県総連盟および流派から、記念大会を中心に招待が増えた。その機会を活かし、大会への出席とともに、大会日前後に、現地の先生方を中心に、現状や問題点、今後についてなどのお話を伺うことができた。

#### 4. 宗家・会長会議の開催

##### 目標

各地区の宗家や会長との意見交換の機会として宗家・会長会議を開催する。

##### 達成状況

開催日：令和5年1月18日(水)

場 所：日本財団 第1・2会議室(東京都港区)

参加人数：42人

2020年の第1回から3年振りの開催となった。前回、当会から宗家・会長のみなさまへ向けてのお話で、大半の時間を費やしてしまった反省から、今回は、宗家・会長のみなさまからの声を聞くことを最優先としたため、多くの意見、問題点、疑問点を伺うことができた。

#### ③ 事業費総額及び助成金等

事業費総額	73,993,905円
助成金	73,993,000円
自己負担分	905円

#### IV 届出・報告事項

令和4年6月30日

- ・令和3年度事業報告等の提出（内閣府）

令和5年3月27日

- ・令和5年度事業計画書等の提出（内閣府）

令和5年3月28日

- ・変更の届出（定款の変更）（内閣府）

## V 附属明細書について

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定される附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年6月  
公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会